

ウィーンフィルの響き in 酒々井

元ウィーンフィル コンサートマスター

パラシュケヴォフ演奏会



2018.3.18(日) 13時半開場／14時開演

プリミエール酒々井文化ホール

# Program

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ト長調 KV. 301 (293a)

W.A. Mozart : Sonate für Klavier und Violine G Dur KV. 301

I. Allegro con spirito

II. Allegro

ヴァイオリン・ソナタ ト長調 K. 301 (293a) は、第25番から第30番までの6曲の「パリ・ソナタ」の1番目の作品である。1778年パリで作品1として出版されたため、「パリ・ソナタ」と総称される。また、プファルツ選帝侯妃マリア・エリーザベトに献呈されたことから「マンハイム・ソナタ」とも総称される。

シュースターの影響で生まれた新しい様式のヴァイオリン・ソナタの第1作にあたり、ピアノとヴァイオリンの有機的で協奏的な融合が光る作品であり、二重奏ソナタの内容を呈している。「いくらかハイドン風」だとも言われている。

バッハ：パルティータ ニ短調 BWV 1004 ヴァイオリン ソロ

J.S. Bach : Partita d moll BWV 1004 für Violine Solo

I. Allemanda

II. Corrente

III. Sarabanda

IV. Giga

V. Ciaccona

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータBWV1001-1006は、3曲ずつのソナタ（BWV番号は奇数）とパルティータ（BWV番号は偶数）合計6曲からなり、ヴァイオリン独奏の楽曲として、ドイツバロック派の明確な伝統にのっとって書かれている。作曲時期は1720年、バッハが35歳、ケーテン宮廷楽長として、音楽好きの君主レオポルト侯に仕え、多くの世俗曲（協奏曲、室内楽曲）を書いていた頃の楽曲である。

このパルティータ第2番 ニ短調 BWV 1004は4曲の舞曲のあとに、有名なシャコンヌが置かれており、この曲集の頂点の一つを形成するもので、全体に重音奏法が多く、類を見ない力強さと複雑さを備えている。演奏は容易ではないが古今の名作の一つに数えられている。

パルティータとは組曲という意味で、シャコンヌとはバロック時代の一種の変奏曲の様式のことである。

休憩 Pause

パガニーニ：ヴァイオリン ソロ Opus 1 / 13, 16, 14

N. Paganini : 3 Capricen für Violine Solo Opus I / 13, 16, 14

ニコロ・パガニーニ（1782~1840）はイタリアのヴァイオリニスト、ヴィオリスト、ギタリストであり、作曲家である。特にヴァイオリンの超絶技巧奏者として名高い。

24の奇想曲からなる作品1は、ヴァイオリン独奏曲。無伴奏曲なので、ヴァイオリンの重音奏法や、視覚的にも演奏効果の高い左手ピッツィカートなど強烈な技巧が随所に盛り込まれた作品。ヴァイオリン演奏家には難曲中の難曲に挙げられている。

第13番はアレグロ、変ロ長調、6/8拍子。ダ・カーポ3部形式。第1部の響きから「悪魔の微笑み」という俗称を持つ。シューマンの「練習曲作品3第4」の原曲。第16番はプレスト、ト短調、3/4拍子。16分音符による無窮道。シューマンの「練習曲作品3第6」の原曲。第14番はモデラート、変ホ長調、2/4拍子。重音と三重音、四重音による軍隊行進曲風の旋律が重音奏法で処理される明快な曲。

チャイコフスキー：セレナーデ メランコリック Op. 26

メロディ Op. 42 No. 3

ワルツ スケルツォ Op. 34

P.I. Tschaikowski

Sérénade Mélancolique Op. 26

Melodie Op. 42 No. 3

Valse - Scherzo Op. 34

チャイコフスキー（1840~1893）は、メランコリックな旋律と絢爛豪華な作曲で大変人気の高いロシアを代表する音楽家。

セレナーデ メランコリック（憂鬱なセレナーデ）作品26は、サンクトペテルブルク音楽院教授を務めていた名ヴァイオリニストであるレオポルト・アウアーの依頼により、1875年1月から2月にかけてモスクワで作曲されたヴァイオリンと管弦楽のための作品で後にヴァイオリンとピアノのための作品が作られた。

メロディ 変ホ長調は1878年の3月から5月にかけてウクライナの別荘地ブライーロフで作曲されたヴァイオリンとピアノのための3曲からなる小品集 作品42「なつかしい土地の思い出」の3曲目で今では独立した楽曲として演奏されている。

ワルツ・スケルツォは、1877年に作曲され翌78年にパリで初演。ヴァイオリンの華やか技巧の中にもチャイコフスキーらしいロシア風の上品な曲想が特徴となっている。

メンデルスゾーン 歌の翼にのりて Op. 34 (ハイフェッツ版)

B.Mendelssohn : Lieder Op. 34 (Bearbeitung Ahron)

Auf den Flügeln des Gesangs

1834年、デュッセルドルフでゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者をしていたメンデルスゾーンが25歳のときに書いた「愛の歌」、「春の歌」、「ズライカ」などが含まれている『六つの歌曲』のなかの第2曲目。当時はおとぎの国と考えられていた遠い東洋の国インドに恋人である君を連れて行こうとロマンティックに歌う歌詞は、19世紀最大のロマン派詩人ハイネの詩集『歌の本』におさめられている「叙情挿曲」からとられている。

メンデルスゾーンは裕福な銀行家の家庭に生まれ育ち、恵まれた生涯をおくったことが作風にも現れ、上品で明るい美しさに満ちた曲が多く、アルペジオの伴奏にのって流れるようななだらかなメロディのこの曲も、優雅な、ロマンの香り高い曲として広く親しまれ、彼の歌曲の代表作となっている。

演奏曲はハイフェッツによってヴァイオリンのために編曲されたもの。

## 主催者挨拶

本日は、NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会が開催いたしますコンサートにお越し下さいまして誠にありがとうございます。

私たちのコンサートも今年で5回を数えます。

毎年著名な音楽家を酒々井町にお招きし高品質の音楽を安価に皆様に提供し鑑賞して頂くことをモットーに開催してまいりました。

今年は、ブルガリアでお生まれになりドイツの国籍を持つ、元ウィーンフィル コンサートマスターのヴァイオリン奏者、ヴェセリン・パラシュケヴォフ氏と数々のピアノ コンクールで受賞され世界的に有名なピアニスト、原万佑子氏お迎えし「ウィーンフィルの響きin 酒々井」を開催することに致しました。

開催地、酒々井町は、町制129年迎え日本一古い町です。また、3万5千年前から人々が生活した足跡が残り、歴史が息づく歴史と文化の町です。

このような地でモーツァルトやバッハやチャイコフスキーなど著名な作曲家が19世紀に作曲し、多くの人に親しまれ演奏された素晴らしいクラシック音楽の神髄を鑑賞し、心豊かなひと時をお楽しみ頂きたいと思えます。

さて、私たちのNPO法人は、皆様が安心して楽しく暮らせる全員参加のまちづくりを、皆様と一緒に実現する活動を行って居ます。このコンサートの開催もその活動の一つです。皆様がこのコンサートを通じてご近所の方々との出会、会話を通じて絆で結ばれ相互に助け合うコミュニティの構築も目標の一つです。

本日は、短い時間では有りますが、素晴らしい音楽を心行くまでご鑑賞下さい。

平成30年3月18日

NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会  
理事長 山本 孝一



酒々井 抄家  
☎043-496-1001  
〒205-0214 千葉県印旛郡酒々井町中央台1-2-2  
http://www.issai-machizukuri.or.jp

有限会社  
**大谷屋酒店**  
本店 043-496-0724  
東酒々井店 043-496-4554



**酒々井店**  
営業時間  
10:00 ~ 21:00  
酒々井町  
中央台 2-2-2  
043-481-7611




**FRESH FIRST STORE  
NARITAYA**  
食彩館 酒々井店 酒々井町中央台 2-24-1  
TEL.043-496-3955 FAX.043-496-1444



**ケーブルネット296**  
ウィーンフィルの響きin酒々井  
パラシュケヴォフ演奏会  
地デジ10chにて放送!!  
4/16~30 12:00~/20:00~  
お問合せ時間: 9:00~18:00(年中無休)  
**0120-533-296**

自家焙煎挽き売り  
**スガ COFFEE**  
成田市橋賀台1-45-2Y&Rハウス-C  
Tel 0476-37-5450

主催・問い合わせ:  NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 080-2566-3233(山本)  
共催:酒々井まちづくり研究所 後援:酒々井町  
平成29年度町民交流事業

私達は、住民によるまちづくりの輪が広がることを願って活動しています  
【住民活動団体の応援・コーディネート、住民交流イベント開催、まちづくり情報収集・広報活動】